

平成 2 5 年 度

事 業 概 要

平成 2 5 年 5 月

国土交通省 中部地方整備局
北 勢 国 道 事 務 所

ミッション（使命）

三重県北勢・
伊賀地域の
安全で円滑な
道路交通を
目指して

北勢国道事務所は、北勢・伊賀地域の道路整備を通して、道路交通渋滞の緩和や道路交通事故の削減等を図り、「活力ある社会」「安全・安心」「生活環境の創造」に貢献します。

道路事業の目標

三重県の北勢地域、伊賀地域は、中部圏と関西圏を結ぶ交通の要となる地域で、産業や観光等が活発な三重県全域を牽引する元気な地域ですが、慢性的な道路交通渋滞や交通事故が多発する地域でもあり、暮らしや経済等に大きな影響を与えています。

この為、それらの解消と更なる発展のために次の三つを目標に定め、この実現に努めます。これにより、三重県民の元気づくり『県民しあわせプラン』を支援します。

暮らしや産業を支える活力ある社会の形成

都市部の集中する通勤交通や沿岸部の物流交通等により発生する慢性的な道路交通渋滞を緩和し、活力ある社会の実現に向け、道路ネットワークの構築を効率的に進めます。

- 高規格道路ネットワークの形成
 - ・ 国道475号東海環状自動車道：北勢地域の高速アクセスの向上
- 広域的ネットワークを支援し、都市の骨格となる道づくり
 - ・ 国道1号北勢バイパス：四日市都市圏の渋滞緩和
 - ・ 国道1号関バイパス：亀山IC周辺の渋滞緩和
 - ・ 国道1号桑名東部拡幅：伊勢大橋の架け替えと渋滞緩和
 - ・ 国道258号大桑道路：桑名・大垣間の渋滞緩和

安全・安心できる暮らしの確保

安全・安心な暮らしの実現に向け、交通事故対策や道路施設の耐震強化及び防災対策を進めます。

- 安心・安全な道路づくり
 - ・ 国道25号名阪国道：亀山・伊賀地域の道路交通の安全・安心の向上

質の高い生活環境の創造への支援

歩行者、自転車などの幅広い道路利用者への道路空間を利用した各種サービスの提供及び沿道環境の保全等により、質の高い生活空間の創造を支援します。

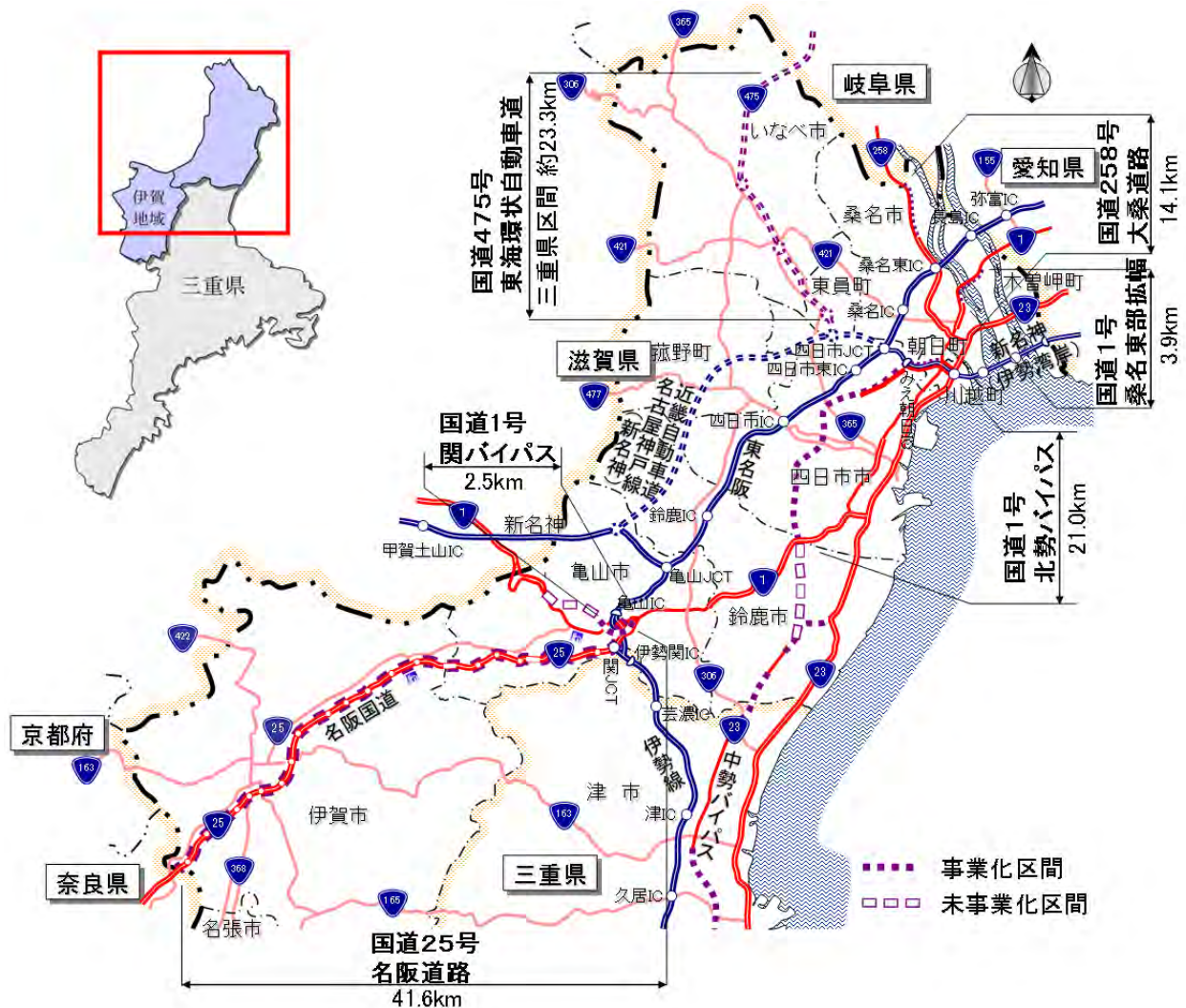
1. 北勢国道事務所の所管

北勢国道事務所は、国道1号、25号、258号、475号の4路線、約106kmの整備事業を担当するとともに、国道25号名阪国道（延長41.6km）の維持管理を担当しています。

広域的なネットワークの形成を図る国道1号北勢バイパスと関バイパスの整備、国道1号桑名東部拡幅、国道258号大桑道路の現道拡幅事業及び高規格道路ネットワークを形成する高規格幹線道路の国道475号東海環状自動車道（三重・岐阜県境～四日市市）の整備・推進を行っています。

交通事故や老朽化する道路施設に対応するため、国道25号名阪国道（三重県区間）の交通安全対策の整備方針に基づいた、インター改良・路肩拡幅等の交通安全対策及び橋の耐震補強等を推進するとともに日常の維持管理、損傷した施設の修繕を行っています。

○ 事業箇所



北勢国道事務所事業箇所

路線名	箇所名	事業延長 (km)	区 間
1 号	くわなとうぶかくふく 桑名東部拡幅	3.9	くわなしながしまちようまたぎ 桑名市長島町又木～同市北浜町
	ほくせい 北勢バイパス	21.0	みえぐんかわごえちよう よっかいちしうねめ 三重郡川越町～四日市市采女
	せき 関バイパス	2.5	かめやましたいこうじちよう せきちようわしやま 亀山市太岡寺町～同市関町鷺山
25号	めいはん 名阪道路	41.6	かめやましたいこうじちよう いがしはった 亀山市太岡寺町～伊賀市治田
258号	だいそう 大桑道路	14.1	くわなしたどちよう ゆい 桑名市多度町柚井～同市城南和泉
475号	とうかい 東海環状自動車道 (養老～北勢)	9.0	岐阜・三重県境～いなべ市北勢町
	とうかい 東海環状自動車道 (北勢～四日市)	14.4	いなべ市北勢町～四日市市北山町

2. 北勢国道事務所の事業費

○ 平成25年度事業費

(百万円)

費 目	H25年度当初	備 考	
		平成24年度補正 (平成25年2月)	
国道1号桑名東部拡幅	1,228	—	
国道1号北勢バイパス	1,141	1,845	
国道1号関バイパス	50	—	
国道25号名阪道路	20	—	
国道258号大桑道路	190	940	
国道475号東海環状自動車道	9,311	630	
交通安全関係等	1,378	—	下柘植IC改良工事等

※国道25号名阪道路の維持修繕事業費等は含んでいません。

3. 北勢国道事務所の事業内容

○平成25年度の事業内容

桑名東部拡幅 : くわなしながしまちようまたぎ 桑名市長島町又木～くわなしきたはまちよう 桑名市北浜町間の伊勢大橋架替に必要な事業損失補償等を推進するとともに、改良工事及び橋梁下部工事に着手します。

北勢バイパス : よっかいちしたるさかちよう 四日市市垂坂町～ひながやさと 日永八郷線間の平成26年度暫定2車線開通を目指し、橋梁上部工事等を推進。ひながやさと 日永八郷線～よっかいちしうねめ 国道477号間の用地取得等、国道477号～四日市市采女（国道1号）間の調査設計を推進します。

関バイパス : かめやましおのちよう 亀山市小野町～せきちようわしやま 同市関町鷺山間の道路設計等を推進します。

名阪道路 : かめやま 亀山IC～はった 治田IC間のインターチェンジ改良等を推進するとともに、おおうち 大内ICの今年度までの完成を目指しインター改良工事を推進します。

大桑道路 : くわなしだどちようかとり 桑名市多度町香取～くわなしだどちようしものしろ 桑名市多度町下野代間の平成26年度4車線化を目指し、改良工事等を推進。くわなしだどちよう 桑名市多度町ゆい 柚井～くわなしだどちようかとり 桑名市多度町香取間は、平成27年度の4車線化を目指し、橋梁下部工事等を推進します。

東海環状自動車道 : とういん 東員IC（仮称）～よっかいちきた 四日市北JCT（仮称）間の平成27年度完成4車線開通を目指し、橋梁上部工事及び橋梁下部工事等を推進。ほくせい 北勢IC（仮称）～とういん 東員IC（仮称）間の改良工事、橋梁下部工事等に着手し、ほくせい 県境～北勢IC（仮称）間の用地取得に着手するとともに道路設計等を推進します。

交通安全関係等 : 国道25号名阪道路のインターチェンジ改良工事、非常駐車帯工事、区画線工事等を推進します。

国道1号桑名東部拡幅

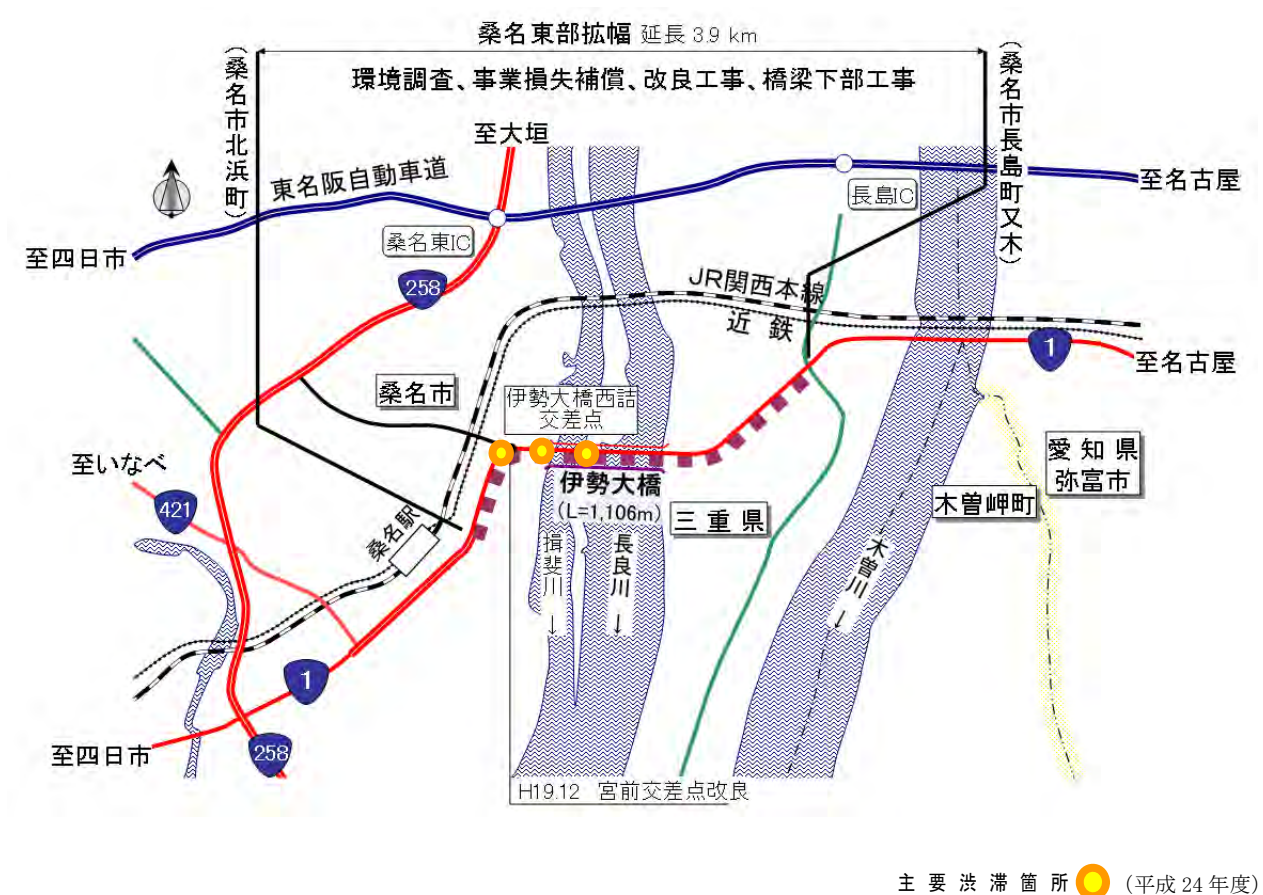
1. 目的

一般国道1号桑名東部拡幅は、現道の4車線拡幅による渋滞緩和、交通安全確保及び昭和9年架橋で老朽化の著しい伊勢大橋の架替を目的に計画された拡幅事業です。

2. 概要

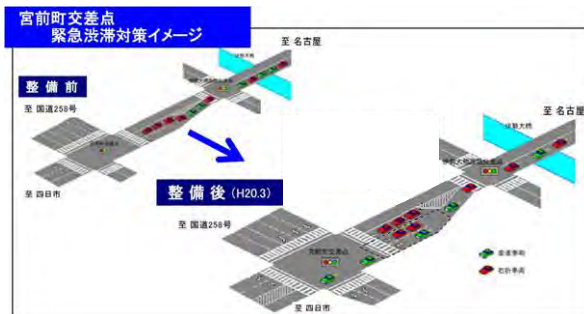
桑名東部拡幅は、桑名市長島町又木～同市北浜町間の延長3.9kmの現道拡幅事業です。

本年度は、桑名市長島町又木～桑名市北浜町間で伊勢大橋架け替えに必要な環境調査、事業損失補償等を推進するとともに、改良工事及び橋梁下部工事に着手します。

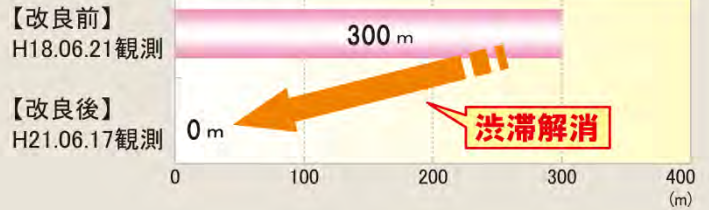


幹線道路の交通混雑緩和・解消

平成19年12月の宮前交差点改良が完成し、交差点の渋滞が緩和しました。

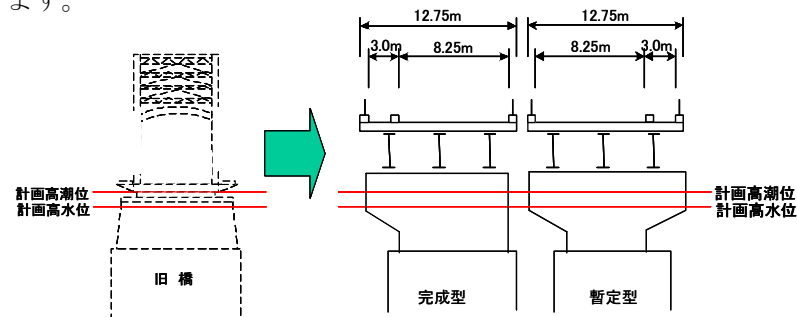


宮前町交差点下り方向の渋滞長変化



安全な生活環境の強化

・新しい橋は、従来と比べ橋が高く橋脚も細くなるため、川の流れがスムーズになり、周辺地域の水害の恐れが少なくなります。



伊勢大橋の老朽化対策

- ・伊勢大橋は、昭和9年度（79年経過）に竣工し、長年の雨水・塩害影響により老朽化が進んでいます。
- ・最新の橋梁の基準に基づいて設計することから、耐震性に優れた橋になります。そのため、地震時の避難経路や緊急輸送路の確保をすることができます。

<中堤上流からの全景>



国道1号北勢バイパス

1. 目的

北勢バイパスは、四日市市を中心とする北勢地域の環状道路として、国道1号・23号等の渋滞緩和、交通安全の確保及び地域開発の支援を目的に計画された道路です。

2. 概要

北勢バイパスは、三重郡川越町南福崎（国道23号名四国道）～鈴鹿市稲生町（国道23号中勢バイパス）に至る延長約28kmの幹線道路で、現在、みえ川越IC～三重郡朝日町小向（国道1号）までの延長1.2kmを完成4車線で、三重郡朝日町小向～⑤垂坂1号線までの延長5.9kmを暫定2車線で開通しています。

また、四日市市垂坂町～⑤日永八郷線区間（延長1.4km）について、平成26年度暫定2車線の開通を目指しています。

本年度は、四日市市垂坂町～⑤日永八郷線間において改良工事、橋梁下部工事、橋梁上部工事等を進めるとともに、⑤日永八郷線～国道477号の橋梁下部工事及び用地取得、国道477号～四日市市采女（国道1号）間の調査設計を推進します。

※本年度事業内容は、当初予算及び平成24年度補正予算を含む。

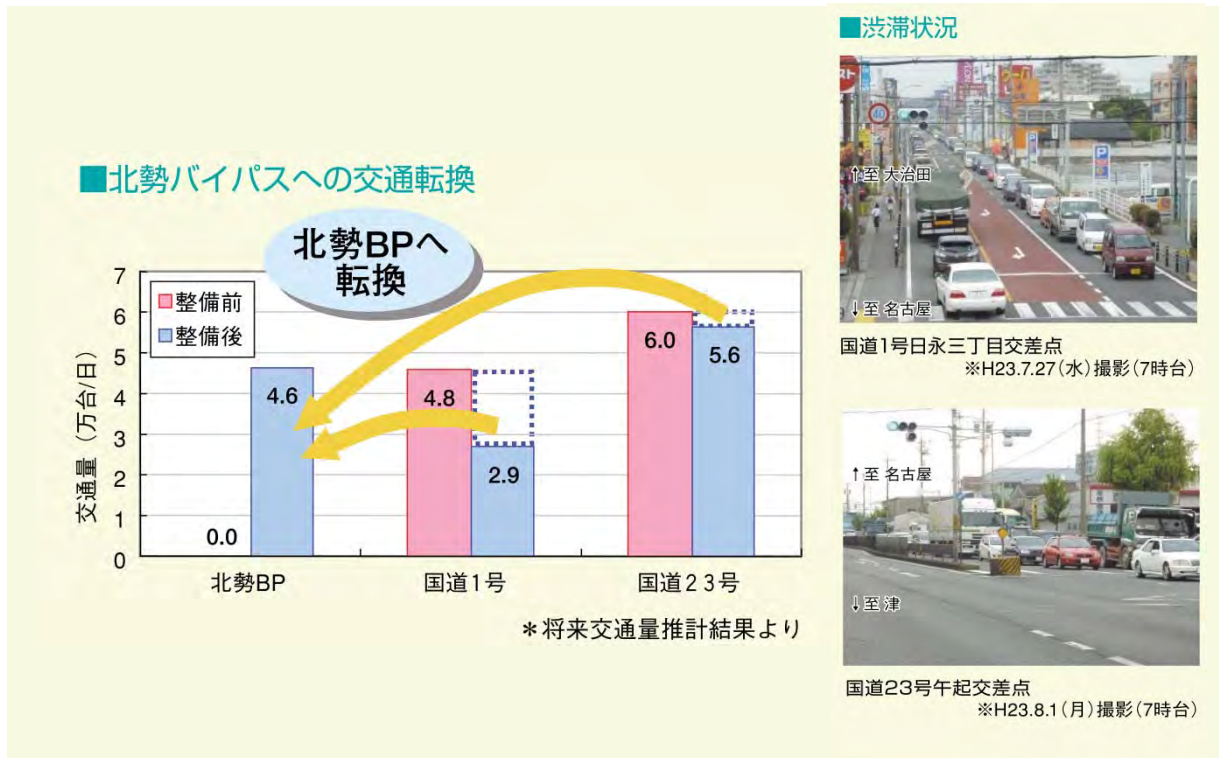


北勢バイパス



北勢バイパスにより通過交通が転換、並行区間の渋滞が緩和

・北勢バイパスの整備により、通過交通を分担するバイパス機能を発揮し、交通転換により交通渋滞を緩和します。



北勢バイパス周辺地域の現状と課題

災害に強い道路機能の確保

北勢バイパス周辺の北勢地域では、一般国道1号及び23号が緊急輸送路(1次)に指定されていますが、東海・東南海・南海同時発生の際は、津波による浸水被害を受けると予想されている区域内に位置しています。
内陸部に位置する北勢バイパスの整備により、津波浸水域外の緊急輸送道路が確保され、災害時の物資輸送を支援できます。

[東海・東南海・南海地震同時発生時の津波浸水予測]



津波の浸水予測(平成23年度版)
(防潮堤等の施設がないとした場合、M8.7)
出典: 三重県防災対策部

大規模事故発生時等における代替機能の確保

北勢バイパスの整備により、国道1号及び23号における大規模事故発生時等による通行不能時の代替路が確保されます。

[北勢バイパスを利用した沿岸部アクセス]



国道1号関バイパス

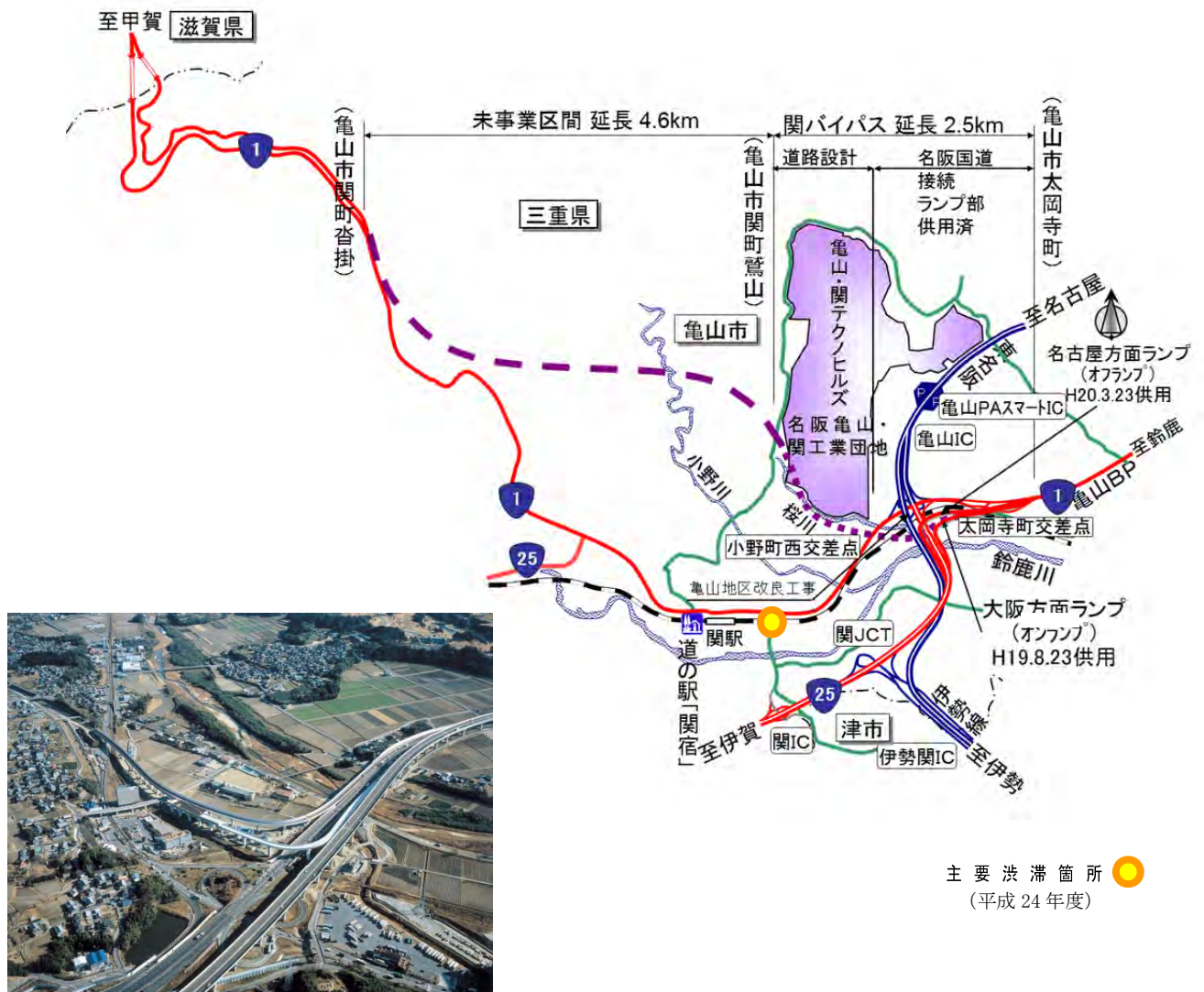
1. 目的

関バイパスは、国道1号の増加する交通量への対応、交通安全の確保を図り、さらには地域発展の核となるプロジェクトの支援を目的に計画された道路です。

2. 概要

関バイパスは、亀山市太岡寺町～同市関町沓掛迄の延長約7.1kmの幹線道路で、平成19年度に名阪接続ランプを開通しています。これにより、国道1号太岡寺交差点の渋滞が緩和されました。

本年度は、亀山市小野町～同市関町鷺山間の道路設計等を推進します。



関バイパス 名阪接続ランプ

地域経済の支援

現在の交通状況

平成19年度の国道1号と名阪国道を直結するランプ開通により、太岡寺町交差点の渋滞が改善されました。しかし、亀山市関町市街地の国道1号木崎交差点が主要渋滞箇所となっているなど、日常的に渋滞が発生しています。

関バイパスの開通により、交通が分散し、現道の交通混雑の緩和に寄与します。

■亀山・関テクノヒルズは近年も企業進出が継続
(特に物流企業が顕著)

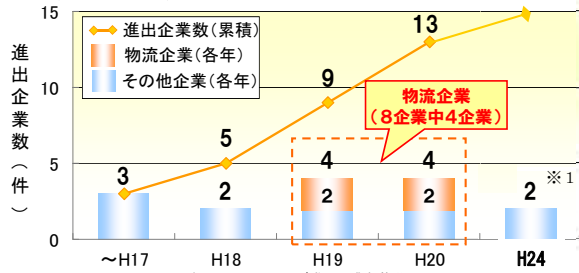
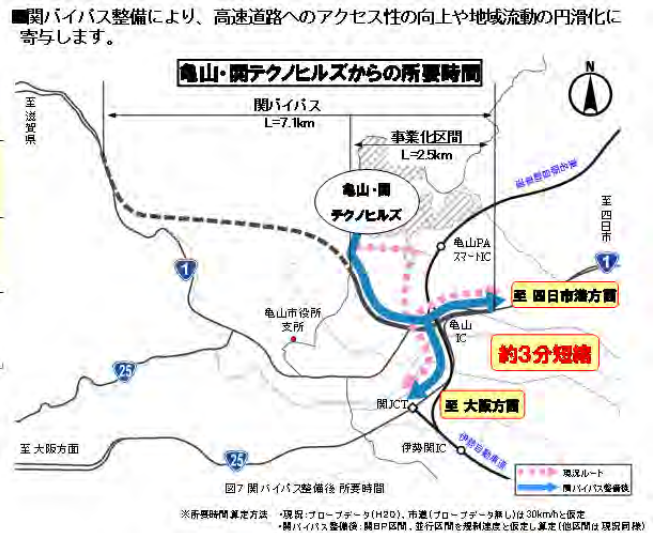


図6 亀山・関テクノヒルズ進出企業数推移
出典: 亀山・関テクノヒルズHP



バイパス整備により地域環境が良好に

- 平成19年度に2本のランプ(連絡路)が完成したことで交通が分散して渋滞が減少。
- 国道1号大岡寺町交差点では、朝夕の交通ラッシュ時に最大渋滞長700m(通過時間7分)の渋滞が発生していました。大阪行きランプに交通量の約5割が転換することで、それらが70m(2分30秒)に短縮しました。



国道25号名阪道路

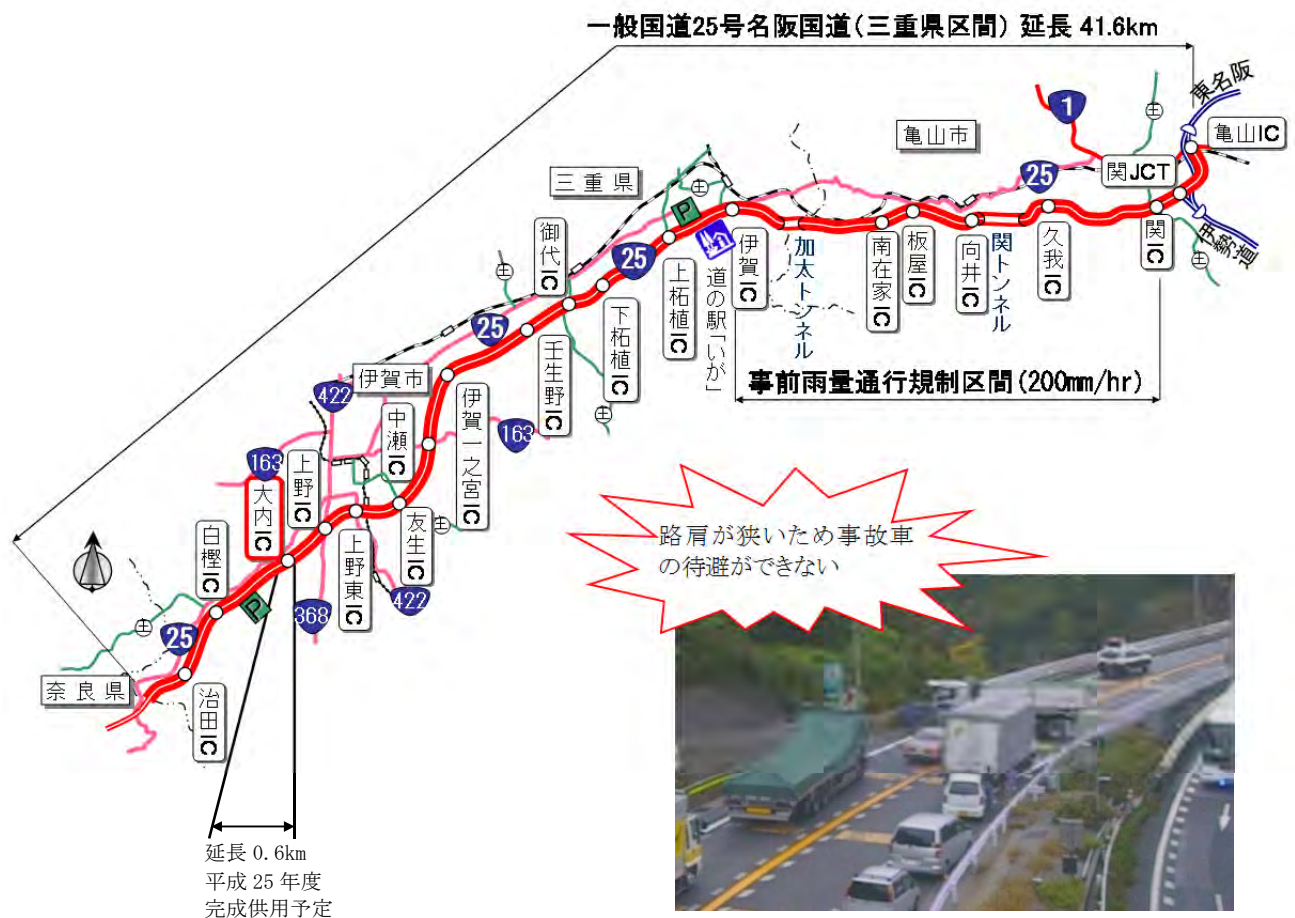
1. 目的

名阪国道は、三重県亀山市から奈良県天理市までの自動車専用道路であり、東名阪自動車道、西名阪自動車道と直結し、国土軸である名神高速道路の代替機能を有する道路です。

2. 概要

国道25号名阪国道は、三重県亀山市太岡寺町～奈良県天理市櫛本町迄の延長約73.2km(三重県内延長41.6km)の一般国道の自動車専用道路として建設され、昭和40年12月に暫定2車線で開通し、昭和55年3月には全線4車線で完成しました。現在は、増加する交通事故等の課題に対処するため、インターチェンジ改良や路肩拡幅等の道路構造の改善を進めるとともに、事前雨量通行規制区間の解除を目指した防災対策や耐震補強及び橋梁の長寿命化を進めています。

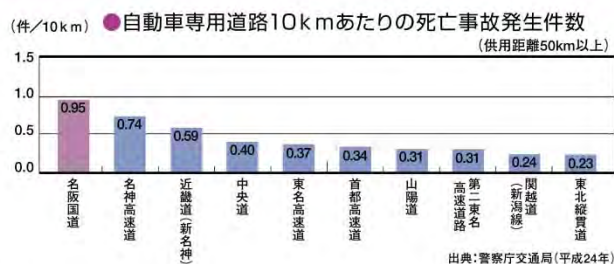
本年度は、亀山IC～治田IC間のインターチェンジ改良等を推進するとともに大内ICの今年度までの完成を目指しインター改良工事を推進します。



6万台/日(大型車率50%)の交通が流動する名阪国道。
渋滞や事故による通行障害により、生産活動や市民生活に
大きな損失を与えている。

交通事故の抑制へ向けて

名阪国道の10kmあたりの死亡事故発生件数は、全国の自動車専用道路でワースト1です。交通事故は、インターチェンジ周辺、山間部でカーブの多い関トンネル～加太トンネル周辺で多く発生しています。



交通安全対策(ハード)

上り坂・トンネル前後の区間等の事故対策として、非常駐車帯の整備を進めています。

対策例:非常駐車帯の整備(新設)



インターチェンジ変速車線と本線の合流部での事故対策として、変速車線の延伸を進めています。

対策例:インターチェンジ加速車線の延伸



交通安全対策(ソフト)

インターチェンジ変速車線と本線の合流部での注意喚起として、合流車情報板の設置等を進めています。

その他、事故抑制のための注意喚起の看板設置等を進めています。又、道路利用者に国道25号名阪国道を安全に走行して頂くために「名阪国道セーフティマップ」を作成し、配布していきます。



対策例:合流車情報板の設置



名阪国道セーフティマップ

名阪国道の安全安心走行を考える懇談会

死亡事故発生件数(自動車専用道路10kmあたり)の高い名阪国道の安全安心走行を考えるため、地域の代表者、道路利用者、交通・道路管理者、行政による懇談会を平成18年度に設置し、ご意見を聞きながら交通安全対策(ソフト・ハード)を推進しています。



平成24年度懇談会(平成24年5月17日)

延命化・耐震対策

名阪国道は、昭和40年の開通後、40年以上が経過しています。また交通量は飛躍的に伸び、大型車も多いため、舗装はひび割れやポットホール(穴ぼこ)等が発生し、橋梁・トンネルにおいても老朽化が進んでいます。そのため、老朽化した名阪国道の延命化に向けて、維持補修を実施しています。また、橋梁の耐震対策などにより災害に強い安心な道路づくりを推進しています。



傷んだ道路



傷んだ橋

〈橋梁耐震対策〉

阪神大震災などの教訓を踏まえ、橋梁の橋脚補強や落橋防止などの耐震補強を実施しています。



落橋防止装置

〈路面段差対策〉

巨大地震により、橋梁などの背面に段差が発生し、交通に支障をおきないように、踏掛版やプレキャスト版を設置する段差対策を実施しています。



踏掛版工完成

国道258号大桑道路

1. 目的

一般国道258号大桑道路は、岐阜県西濃地域と三重県北勢地域間の円滑な交通流確保及び地域開発支援を目的に計画された道路です。

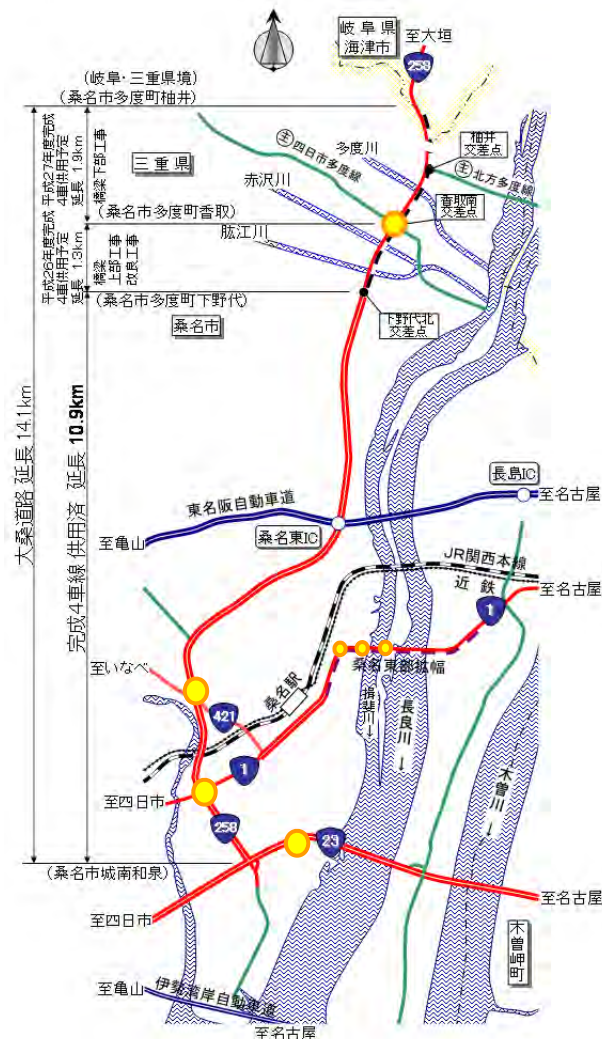
2. 概要

大桑道路は、延長41.6km（三重県内延長14.1km）の幹線道路で、昭和50年度までに全線暫定2車線で開通し、現在は、交通量の増大、車両の大型化に伴い、順次4車線化を進めています。このうち三重県区間の桑名市多度町下野代～同市城南和泉迄の延長10.9kmの4車線が完成しています。

また、桑名市多度町香取～桑名市多度町下野代間（延長1.3km）について、平成26年度4車線を、桑名市多度町柚井～桑名市多度町香取間（延長1.9km）について、平成27年度4車線を目指しています。

本年度は、桑名市多度町香取～桑名市多度町下野代間において橋梁上部工事及び改良工事を推進し、桑名市多度町柚井～桑名市多度町香取間において橋梁下部工事等を進めます。

※本年度事業内容は、当初予算及び平成24年度補正予算を含む。



地域産業を支える大桑道路

大桑道路の沿線には、工場、企業、観光施設が多数立地しています。

また、大桑道路は三重県北勢地域、四日市港と岐阜県西濃地域を結ぶ広域的な物資輸送ルートであり、工業団地も多数立地し、さらなる開発計画も進められています。

沿道周辺の主な工場・企業、工業団地、観光施設



暫定2車線区間の慢性的な渋滞

大型車の交通量の増加や通勤の集中などにより、慢性的に渋滞が発生しています。

大桑道路の渋滞損失時間※は7.2万人時間/年kmとなっており三重県平均の約2.6倍、特に香取南交差点(桑名市多度町香取)は、地域の主要渋滞箇所(H25.1.22)※に指定されています。

※渋滞損失時間…渋滞がない場合の所要時間と実際の所要時間の差

※地域の主要渋滞箇所…三重県道路交通渋滞対策推進協議会において、実態調査などにより、県内の主要渋滞ポイントが129箇所(一般道)選定されております。



大桑道路4車線化整備効果

渋滞の緩和

4車線化により渋滞の緩和が期待されます。これにより、四日市港からの物流交通の安全性・定時性の向上、通勤の所要時間の短縮、観光地へのスムーズな移動も可能になります。

地域間交流・連携の強化

大垣市と四日市・桑名市等、周辺の核となる拠点都市間の連携が強化されることで、新たな技術連携・人材交流等も可能となり、生活文化圏も広がります。

全線4車線化を期待 (彦根市 製造業A社)

国道258号大桑道路を利用し、40フィートコンテナで月40台程度、彦根市から四日市港へ製品を輸送しています。所要時間が短縮すれば、現在神戸港に出している貨物を四日市港に転換させることも考えられます。



国道475号東海環状自動車道

1. 目的

国道475号東海環状自動車道のうち、「養老～北勢」区間は、養老山脈に隔てられた岐阜県西濃地域と三重県北勢地域を直結することで、高速交通ネットワークを形成し、地域開発を支援することを目的とし、「北勢～四日市」区間は新名神高速道路と一体となって、三重県北勢地域の道路網の形成、交通結節点である四日市港への集積拡大による活性化、内陸部の適正な開発等を図ることを目的とした道路です。

2. 概要

東海環状自動車道は、延長約160km（三重県内延長23.3km）の一般国道の自動車専用道路で、現在、東回り（豊田東JCT～関広見IC間）区間の延長約76kmと、西回り区間（関広見IC～四日市北JCT（仮称）間）のうち大垣西IC～養老JCTまでの延長約6kmが開通しています。

三重県内では、平成2年度に北勢IC（仮称）～新名神高速道路に接続する四日市北JCT（仮称）迄の延長14.4kmを事業着手し、平成19年度に岐阜・三重県境～北勢IC（仮称）迄の延長8.9kmを事業着手しており、東員IC（仮称）～四日市北JCT（仮称）間の平成27年度開通を目指しています。



本年度は、以下の事業を推進します。

- 東員IC（仮称）～四日市北JCT（仮称）間については、橋梁上部工事及び下部工事等を推進します。
- 北勢IC（仮称）～東員IC（仮称）間については、改良工事、橋梁下部工事等を着手します。
- 県境～北勢IC（仮称）間については、用地取得に着手するとともに道路設計等を推進します。

※本年度事業内容は当初予算及び平成24年度補正予算を含む。

所要時間の短縮

名古屋圏の諸都市がともに連結されることにより、都市間の所要時間が短縮され、利便性が向上します。

※下図内の移動時間は各市役所間の所要時間で、岐阜市・関市は関市役所を基準にしています。
また、旅行速度を東海環状70～100km/h、一般道30km/hで算定しています。

■東海3県の主要都市間の所要時間が短縮し連携が強まる



図 東海環状自動車道開通後の沿線都市間の所要時間

医療機関へのアクセス向上

救命救急センターに30分以内に行ける地域が拡大することで、より多くの方々の生命が守られます。

※出血多量の場合は、30分以内に病院に搬送できれば、5割の方の命が助かるとされています。

出典：カラー救命曲線

東海環状の整備により
桑名・いなべ生活圏における
人口カバー率が上昇
71% → 87%



【救命救急センター】とは…

初期、第二次医療施設の後方病院で、重症及び複数の診療科領域にわたるすべての重篤な救急患者を24時間体制で受け入れる医療施設です。



図 地域救命救急センター30分アクセス圏域

災害に強い道路

東海環状自動車道は、海拔ゼロメートル地帯を迂回しており、高架構造が大半を占めるため、河川氾濫等の浸水時にも避難・救助・復旧・復興のための道路ネットワークとして役割を果たすことが期待できます。

■高架構造が大半であるため、避難、救助、復旧、復興活動に寄与

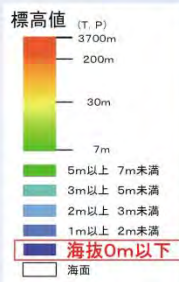
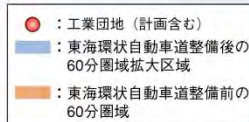


図 東海環状自動車道と海拔ゼロメートル地帯

地域経済活性化の支援

東海環状自動車道西回り区間の整備により、名古屋港・四日市港からの60分圏域が拡大し、名古屋港・四日市港の背後圏への物流の効率化が可能となります。

更に西回り区間沿線において、工業団地の整備・計画が進められており、西回り区間の開通により、沿線市町の地域経済の活性化が期待できます。



() のIC・JCT名は仮称 (H22年度末現在)

デジタルロードマップより名古屋港・四日市港60分圏域を計算
事業所数・製造品出荷額は、H17工業統計メッシュデータから計算



図 西回り区間沿線での工業団地の立地・計画状況および名古屋港・四日市港の60分圏域の拡大

○ 諸元一覧

路 線 名	1 号			2 5 号	2 5 8 号	4 7 5 号	
箇 所 名	くわなとうぶかくふく 桑名東部拡幅	ほくせい 北勢バイパス	せき 関バイパス	めいはん 名阪道路	だいそう 大桑道路	とうかい 東海環状自動車道（三重県区間）	
当 事 務 所 事 業 区 間	くわな しながしまちようまたぎ 桑名市長島町又木 ～ きたはまちよう 同市北浜町	み え ぐんかわごえちようみなみふくさき 三重郡川越町 南 福崎 よつ かいち しうねめ ～四日市市采女	かめやまし たいこう じちよう 亀山市太岡寺町～ せきちようわしやま 同市関町 鷺山	たい こう じちよう 亀山市太岡寺町～ 三重・奈良県境	た ぞちよう ゆ い 桑名市多度町 柚井 じようなんいずみ ～同市城南和泉	岐阜三重県境 ～ ほくせいちよう いなべ市北勢町 きたやまちよう ～四日市市北山町	ほくせいちよう いなべ市北勢町 きたやまちよう ～四日市市北山町
	延長3.9km	延長21.0km	延長2.5km	延長41.6km	延長14.1km	延長8.9km	延長14.4km
	—	計画延長約28.4km	計画延長約7.1km	全線延長73.2km	全線延長41.6km	三重県区間延長23.3km 全線延長L約160km	
構 造 規 格 設 計 速 度	第4種1級 60km/h	第3種1級 80 km/h (一部60km/h)	第3種2級 60km/h	第1種3級 60、80km/h	第3種2級 (第4種1級) 60km/h	第1種2級 100km/h	
標 準 幅 員	幅員30m 4車線	幅員25m 4車線	幅員28m 4車線	幅員22m 4車線	幅員22m 4車線	幅員23.5m 4車線	
事 業 着 手	昭和51年度	平成4年度	昭和49年度 平成8年度(復活) 平成15年度(延伸)	昭和56年度	昭和40年度	平成10年度 (着工準備) 平成19年度 (着手)	平成2年度
都市計画決定	昭和26年6月14日 昭和61年1月31日	平成2年12月25日 平成11年8月17日 (一部変更)	平成8年11月5日	昭和39年度	昭和40年12月28日 昭和54年2月6日	平成19年4月24日	平成4年1月21日
工事着手	平成15年度	平成11年度	平成14年度	昭和56年度	昭和41年度	未着手	平成9年度
開 通 区 間	平成19年12月13日 みやまえちよう 宮前町交差点(下り) 右折レーン2車線化	平成15年3月21日 かわごえちようみなみふくさき 川越町南福崎 ～四日市市永永町 (伊勢湾岸自動車道 重複区間) (L=3.6km) 平成22年3月28日 みえ朝日IC ～  (L=1.6km) 平成23年3月26日  ～  (L=1.0km) 平成22年3月28日  ～  (L=0.9km)	平成19年8月23日 おおさか 大阪行きランプ (オンランプ) (L=0.7km) 平成20年3月23日 なごや 名古屋行きランプ (オフランプ) (L=0.7km)	(名阪国道 L=41.6km) 昭和40年12月 全 線 暫定2車開通 昭和55年3月 全 線 完成4車供用	～昭和50年度 全 線 暫定2車開通 昭和55年度～平成10 年度 桑名市上深谷部 ～同市城南和泉 完成4車供用 (L=9.4km) 平成22年2月15日 たどちようしものしあ 桑名市多度町下野代 ～同市上深谷部 完成4車供用 (L=1.5km)	未開通	未開通

お問合せ先



夢を広げるみちづくり、ほくほくネットワーク
国土交通省中部地方整備局

北勢国道事務所

〒510-8013 三重県四日市市南富田町4-6

TEL : (059) 363-5511 (代) FAX : (059) 363-5521 (代)

〒519-0165 三重県亀山市野村4-3-25 (管理課)

TEL : (0595) 82-1312 (代) FAX : (0595) 83-1319 (代)

〒518-0842 三重県伊賀市上野桑町2055 (上野維持出張所)

TEL : (0595) 21-3011 (代) FAX : (0595) 21-9742 (代)

ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/hokusei/>

携帯電話用サイト <https://www2.cbr.mlit.go.jp/hokusei/keitai/>



北勢国道事務所が実施する事業については上記ホームページでもご覧いただけます



道路施設の損傷、路面の汚れ(油・土砂)、路面の穴ぼこ、落下物など。

道路の異常を発見したらご一報ください。

緊急通報 **#9910**へ

※高速道路については、道路名、進行方向、キロポスト、
周辺の施設名等をご確認いただきますようお願いいたします。
※道路交通法により運転中の通話は禁止されています。
安全な場所に停車しておかけください。

2013.5月